



# こしみず町 議会だより

News from koshimizu town assembly

補正科目	補正額	主な補正内訳
総務費	7,690千円	地域生活バス路線維持費補助金など
民生費	318千円	社会福祉協議会補助金など
農林水産業費	1,237千円	有害鳥獣捕獲奨励報償費など
土木費	23,435千円	社会資本整備総合交付金事業など
教育費	3,590千円	小清水高等学校教育振興費補助金など
合計	36,270千円	

## 補正予算

可決

▼一般会計  
歳入歳出それぞれ3千627万円を追加補正。  
主な補正内容は次のとおりです。

## 条例

可決

### 災害弔慰金の支給等に関する条例

3月11日に発生した東日本大震災の被害の甚大さなどに鑑み、災害弔慰金の支給対象となる遺族の範囲を改正するものです。  
(平成23年12月16日施行)  
(平成23年3月11日より適用)

### 小清水町多目的研修集会所施設設置条例

増築された会議室及び新たに設置された設備・備品の使用料を定め、既存施設の室名等を改正するものです。  
(平成23年12月16日施行)

### 小清水町企業立地促進条例

多様な産業の立地を促進し、地域経済の活性化と雇用機会の創出を図ることを目的に、これまでの「小清水町工場設置奨励条例」を廃止し、新たに「小清水町企業立地促進条例」として制定するものです。  
(平成24年4月1日施行)



第8回定例会は12月15日に開会し、町長からの行政報告のほか、6議員の一般質問と意見書案、選挙管理委員及び補充員の選挙、条例改正、補正予算などについて審議・可決し閉会しました。

今月号では、第8回定例会における審議事項等についてお知らせいたします。

## 意見書

可決

議員から提出された意見書案について審議の結果、原案のとおり可決し、関係大臣等に提出することとしました。

件名	要旨	提出先
T P P 協定交渉参加に向けた「関係国との協議開始」に関する意見書	野田総理大臣は11月11日、「T P P 協定交渉参加に向けて関係国との協議を開始する」と表明した。農林水産業などを基幹産業とする北海道においては、関税撤廃を原則とするT P P 協定が締結され、何ら対策がなされなかった場合には、関連産業を含め2兆円を超える影響が生じ、道民の暮らしと経済の支柱が失われ、地域そのものが立ちゆかなくなる恐れがあり、わが国の食料安全保障を根底から揺るがすことになる。さらに、医療、公共事業、金融、食の安全、雇用など様々な分野に影響が及ぶ可能性があり、国民生活の根幹にもかかわる問題である。このため、多くの国民や道民、地方議会と自治体首長、国会議員もT P P 協定交渉への参加に反対・慎重な対応を強く求めているが、国民に対し情報提供がなされず、国民合意がないまま、交渉参加に向けた関係国との協議開始を総理大臣が表明した。国においては、T P P 協定が地方の産業と国民生活に及ぼす影響などについて十分な情報提供とあわせて、国民的な議論を行うとともに、引き続き、道民・国民合意のないまま、関税撤廃を原則とするT P P 協定には参加しないことを重ねて強く要望する。	・内閣総理大臣 ・外務大臣 ・経済産業大臣 ・農林水産大臣 ・衆議院議長 ・参議院議長

## 計画

可決

### 小清水町過疎地域自立促進市町村計画

平成22年度から27年度を計画期間として平成22年度策定した計画に、新たに対象となる事業の追加及び事業の変更を行うものです。

## 人事

推薦

### 人権擁護委員候補者

平成24年3月31日をもって任期が満了する人権擁護委員候補者の推薦を決定。

人権擁護委員候補者  
佐藤 清氏(再推薦)

## 決算

認定

前回よりの継続審査  
9月13日開会の第6回定例会において、決算審査特別委員会にて審査することとしていた平成22年度小清水町各会計における決算について、同委員会の審査結果の報告があった後、次のとおり認定されました。

- ▼一般会計  
委員長報告のとおり認定
- ▼国民健康保険特別会計  
委員長報告のとおり認定
- ▼後期高齢者医療特別会計  
委員長報告のとおり認定
- ▼老人保健特別会計  
委員長報告のとおり認定
- ▼介護保険特別会計  
委員長報告のとおり認定
- ▼簡易水道特別会計  
委員長報告のとおり認定
- ▼農業集落排水事業特別会計  
委員長報告のとおり認定

## 選挙管理委員

当選

平成23年12月20日で任期満了となる選挙管理委員及び補充員について、指名推薦による選挙により、次の方々が当選人と決定しました。

選挙管理委員	補充員
吉田 正貴氏	寺尾 ひと子氏
加藤 治貴氏	山中 良博氏
中村 静夫氏	権藤 繁蔵氏
佐藤 彰氏	山藤 修子氏

▼任期  
平成23年12月21日  
平成27年12月20日(4年間)  
選挙管理委員に欠員が生じた場合、補充員より順次補充されます。

平成22年度 各会計歳入歳出決算状況

会計名	収入済額	支出済額	翌年度繰越額 (繰越明許費含む)
一般会計	6,732,521千円	6,526,470千円	206,051千円
国民健康保険特別会計	857,227千円	844,880千円	12,347千円
後期高齢者医療特別会計	63,049千円	62,580千円	469千円
老人保健特別会計	5,004千円	5,004千円	0千円
介護保険特別会計(保険事業)	384,933千円	381,241千円	3,692千円
介護保険特別会計(サービス事業)	293,250千円	293,250千円	0千円
簡易水道特別会計	149,548千円	123,535千円	26,013千円
農業集落排水事業特別会計	168,537千円	162,974千円	5,563千円